

CASBEE[®] 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都市中央卸売市場第一市場 水産棟	階数	地上3F
建設地	京都市下京区朱雀分木町80番地	構造	S造
用途地域	商業地域、準工業地域、防火地域	平均居住人員	2,000 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,328 時間/年
建物用途	事務所、物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 0.0	評価の実施日	2018年3月23日
敷地面積	87,949 m ²	作成者	安井設計 福谷
建築面積	29,195 m ²	確認日	2018年3月28日
延床面積	42,802 m ²	確認者	京都市公共建築部



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合		
既存卸売市場の建物躯体に外壁を設置し、小動物、虫等の進入を防ぎ、また屋内温度管理をすることで高度衛生管理ができる卸売市場を目指した計画とする。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
閉鎖型施設であり、温度管理を要するため、外壁および屋根部分で外部と区切れるようにしている。	既存躯体を利用した計画の為、高さ方向のゆとりは少ないが、物流動線等を整理して屋内スペースの有効活用を図っている。	室外は卸売市場の場内動線で現状と変わっていない。毎月1回の市民開放する食彩市や年1回の鍋祭りにて市民開放を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高効率熱源(ガス吸収式COP1.4)やコジェネレーションシステムによる排熱利用などを採用。照明はLEDを採用。	既存躯体利用、磁器質タイル、再生加熱アスファルト混合物の採用を行っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される